

氏名	Aさん	Bさん	Cさん
学科(学部生)	日本文化学科	日本文化学科	日本文化学科
所属ゼミ	徳田ゼミ	尾ヶ崎ゼミ	増田ゼミ
Q1 卒業論文のテーマ	日本人と贈答～民俗学の視点から～	演劇とサブカルチャーの関係性	江戸時代後期の武家・町人・遊女の比較～服飾を中心に～
テーマを選んだ理由	【きっかけ】 アメリカの先住民族の贈答習俗ポトラッチのことをインターネットで見かけたことがきっかけ 【関心・意欲】 文庫版が出たばかりのマルセル・モースの『贈与論』を読み、どうやら「贈答」という人間の活動は面白そうだ 【発展】 「贈答」の問題を民俗学的に研究することはできないだろうか	【関心】 もともと小劇場演劇が好きで、その勉強をするためにこの大学に入学。 【意欲】 小劇場演劇がなぜサブカルチャーに分類されているのか、また若者とサブカルチャーの関係が小劇場演劇の成功と衰退に関係があるのではないか、と考えた	【関心・転向】 江戸時代の武家女性に興味があり卒論を執筆する予定だったが、武家女性の服飾に関する文献が少なかつた為、先生と相談し同時代の武家・町人・遊女の比較を行った
Q2 作成スケジュール	テーマ設定は記憶不明 [4年生] 7月 期末レポートとして目次を提出 ↓ 10月半ば 卒論プレゼン(ゼミで論文の一部を発表) 本格的に研究開始 ・ノート作成(スケジュール、メモ、文献情報の一括管理) ※4年生の夏休みは、卒論とは関係のない本を読んでいた	[入学当初] テーマの大枠設定 [3年生] 冬 具体的なテーマ設定 [4年生] 春学期 小劇場の歴史、サブカルチャーについての文献収集、文献を読む ↓ 秋学期 文献から見える関係性と結論を考察 ※関係性を見出す部分、自分の考察部分に一番時間をかけた	[3年生] 春 仮テーマ設定、文献リスト作成 ↓ 秋 章立ての作成、全体の3分の1程度を執筆 [4年生] 春 テーマ決定、全体の3分の2程度を執筆 ↓ 秋 仕上げ ※計画的に執筆できた
Q3 卒業論文の書き方はどこで修得したか	特に習得していない 指導教授に指導を受けながら	先輩方の卒業論文を参考	ゼミで指導
Q4 卒業論文を書くうえで、困難に感じたこと	論文を書き始めてもすぐに集中力がなくなってしまう、違うことをやり始めてしまいそうになることが大変厄介であった。なるべく集中力の保てる場所で論文作成をした。論文作成期間はほとんど図書館のパソコン室を利用。本が必要になってもすぐに探しに行け、同じゼミの仲間も多くいたので、がんばれた。	資料を集め 先生にお勧めの資料を聞き、そこからその作者の別の本や、本の中で出てくる関係性のある人物の本などを調る 図書館で調べる分野の棚をじっくり見、関連性のありそうな本を選ぶ	先行研究や資料をさがすこと ※指導教授との面談が頻繁に行なわれたので、教授よりアドバイスをいただいた
卒業論文に取り組むときのポイント	早めに取り組む始めること。ぎりぎりに始めると踏み込んだところまで調べられなかったり、間に合わなくて項目を削ることになったりして、不満の残る論文を書くことになる。	卒業論文のテーマへの情熱	テーマ設定を早めにおこない、章立てをしっかり作ること → どこから手をつけたらよいのか、明確になり、取り組みやすくなる
Q5 参考文献の入手経路	・日本民俗大辞典のようなレファレンスブックを引いて ・CiNii、マガジンプラス、NDLOPACの雑誌記事索引などのデータベースから ・見つけた本が参考にしている文献 ・書架をふらついてブラウジングする	Q4のとおり	指導教授からのアドバイス インターネットで検索 図書館に実際に行き探す
Q6 Q5で回答された方法を用いることのメリット	先行研究を見つけることができる	先生に聞くことで、その分野で読まなければならない本をおさえることができ、そこから分野を広げていくことでテーマにぶれることなく資料を探すことができた	多くの資料を見つけることができる
Q7 お勧めのデータベースやオンラインジャーナル	CiNii、マガジンプラス、NDLOPACの雑誌記事索引などの基本的なもの 美術館図書館の資料の横断検索ができるALCというものや、全国の図書館の横断検索のできる「カーリル」というサイト(いくつか図書館を選択してその中から検索することができるので、学校図書館になかった本が地元のいける範囲にある図書館のどこかにないか探すときなどに便利です。)など、いろいろある ウェブ上のデータベースをまとめたDnaviというサービスもある	使用せず	CiNii: Web上で論文の本文を閲覧できるものもあり便利
Q8 失敗・反省談	早く書き始めればよかったの一言に尽きる 日本の民俗学がメインなのに海外の文献ばかり読んで現実逃避してしまったのが反省点	今続けて勉強している中で、卒論では調べられなかった資料や考えがたくさん出てきており、もっと資料を深く調べ読めばよかったと思っています	指導教授以外の先生にも前もってアドバイスをもらえたらよかった
Q9 図書館への期待	図書館で卒論作成の際にどのようなサービスをうけられるのか、また卒論講座のようなものを行っているのか、図書館によく足を運んでいましたが知らなかったのも、もっと目立つように告知などしていただけたらよかったかな、と思う	資料や論文の適切な検索方法を教えていただきたい	自分だけでは検索に限界があると思うので、テーマに沿った資料の探し方をお手伝いいただければ嬉しい